

令和4年度第1回阿倍野区区政会議安全・安心部会でのご意見と対応一覧

[分類]
①当年度(4年度)において対応
②5年度に対応予定
③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
④その他

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
1	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『マンション住民の防災意識向上について』 戸建てだけではなくマンションに対しての災害対策も進められるということはありがたい。マンション住人の「自分たちは大丈夫」という安心感のような意識があり、避難訓練などへの参加も少ないという点が課題ではないかと思う。 【宮本委員】	マンションは耐震性が高く、在宅による避難生活が可能であることから、マンション特有の日ごろの備えや対応などに着目してマンション内の防災計画を作成しておくことは重要であると考え、今年度「マンション防災計画モデル作成事業」に着手し、モデルマンションの防災計画を作成します。 マンション防災計画作成にあたっては、在宅避難をベースとしたマンション特有の困りごとや日ごろの備えの必要性などを住人で共有しながら進めることとしております。「建物の安心感からくる地域の防災訓練への参加率の低さ」のような状況につきましても、日ごろの地域コミュニティとの関わり的重要性などをしっかりと伝えられるような取組にしたいと考えております。	①
2	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『災害対応を担う若年層の育成について』 PTAからいろいろ意見を聞いてみたら、防災リーダーのことが出た。55歳くらいの方からの意見として、8割以上の方が私より高齢であり、やはり若い人材の育成が災害時には必ず力になると思うので、もっと力を入れてほしい。 災害時に高層マンションでエレベーターが止まった時に物資を運べそうな防災リーダーが少ないのでジュニアリーダーの育成や意識の向上に力を入れていただきたい。 ジュニアリーダーに意識向上や訓練をしているが、登録してもらえるまでがなかなか難しいとのことであるが、ジュニアリーダーに登録してもらえるよう中学校へ周知するなどに力を入れてほしい。 防災リーダーの高齢化が問題だということではなく、共助の場合の役割分担として、中学生や高校生のジュニアリーダーの役割が、重要であり、ジュニアリーダーの育成は共助の役割分担としてもっと意識を高めてほしい。 【本庄委員】	当区の防災リーダーの平均年齢は60.6歳となっています。防災リーダーに担っていただく役割の性質上、若い方が望ましいというご意見はありますが、地域の事情等もあり、年齢制限を設けるということのも難しい課題があります。また、災害時の女性の視点も重要であることから、今後とも防災リーダーのご推薦にあたっては自主防災組織の皆さんとよく相談させていただきながら進めていきたいと思っています。 防災ジュニアリーダーにつきましては、阿倍野区独自の取り組みであり、現在31名の登録をいただいております。 地域防災リーダーは各町会3名を定数としてご推薦をいただき任定させていただいておりますが、防災ジュニアリーダーは中学生の防災訓練などの際にチラシなどで紹介したり、地域役員の方の知人つながり、登録していただけたジュニアリーダーのお友達など、子どもたちから申請していただく仕組みとなっています。委員ご指摘の「共助の中の中学生の役割」というところは、戦略の3本柱のひとつである「若年層の防災力向上」として運営方針に掲げているところであり、さらに充実、強化をさせていきたいと考えます。	①
3	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『防災リーダーの組織強化などについて』 阪南地域の防災リーダー43人のうち、昼間の災害であれば実際に動ける在宅者は8名しかいない。 防災リーダーが高齢化しないように定年制も必要だが、在宅のリーダーが必要と思うので、災害対策を知っている在宅の方を「防災スタッフ」として継続して活動してもらいたい。 阪南地域は、女性の登用を進めていきたいと考えているので、今後とも区役所や消防署など、関係機関のご支援をいただきたい。 【久保委員】	日中の発災の場合の災害対応については、防災リーダー経験者など在宅の方を「防災スタッフ」として活動いただくこと、また、避難所運営など災害対応の際に女性の視点をしっかりと踏まえていくことについては、委員ともご相談させていただき、しっかりとサポートしていけるよう取り組んでまいります。	③
4	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『いろいろな媒体を活用した情報の発信について』 我が家の防災プランnaviを実際に家族でやってみたり、1週間分の食料備蓄にも取り組んだが必要なものをそろえるのに1か月もかかってしまった。 防犯も防災も当事者意識が上がらないと次の行動につながっていかないと思う。当事者意識を上げていくツールとしてはそれぞれ情報の取得方法が違い、チラシや、ツイッターやInstagramなどSNSで情報をキャッチしている方も多くおられる。 阿倍野区のツイッターやインスタでは、マイナンバーのポイントとかイベントがありますよというものが多く、例えばツイッターで災害情報が流れるのであればいいと思う。当事者意識を上げていくには、一つの媒体にこだわらず、いろんな方法で情報を出していき、「あなたは当事者ですよ」という形で巻き込みながら情報を発信していったりすると町全体が活性化していったって「阿倍野ってこんなことやってるんや」みたいなことをみんなで共有していくうちよくなっていくと思うので、粘り強く阿倍野区の取組をたくさんの世代に広く認知してもらうよう取り組んでいただきたい。 【高橋委員】	防災プランnaviの普及拡大を進めるため、中学校の防災教育や出前講座などでは、教材として活用し、実際に（家で）やってみましょうという働きかけをしています。生徒や参加者の方の反応もよいのですが、結果として現状では家族で話し合っている割合と実際に何かに取り組んでいる割合に乖離があります。この乖離を埋めるために紙媒体だけではなくSNSも使っていくことが大切だという貴重なご意見を踏まえ、区民の皆さんが当事者意識を高めていただけるよう、粘り強く取り組んでまいります。 また、地域団体とも相談し、地域の掲示板や地域イベントなどでも情報発信してまいります。 今後、全ての世代に応じた情報発信方法を意識し、必要な情報が必要な方へ届くよう工夫するなど、当事者意識の向上をめざし、引き続き情報発信を進めてまいります。	①

[分類]
①当年度(4年度)において対応
②5年度に対応予定
③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
④その他

番号	年月	会議	意見内容（要約）	対応（回答）	分類
5	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『個別避難計画について』 個別避難計画をモデル地域で進めているとのことであるが、具体的な進捗状況についてわかる範囲で答えてほしい。 【今井委員】	個別避難計画は災害対策基本法の改正により市町村に義務付けられたもので、当区では全地域一斉ではなく、モデル地域（常盤地域）を選定し、個別避難計画作成のケーススタディを進めていくこととしました。 個別避難計画は災害時の避難支援であることから、自主防災組織の要である町会長に協力をお願いし、速やかな避難が難しいと思われる要介護5の認定の方、身体障害者認定1級の方のうち、車いすの方や視覚障害などの方を対象者として進めています。	①
6	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『個別避難計画について』 個別避難計画は、それぞれの家庭に配布されるということによいか。 【荒田委員】	阿倍野区では、要援護者名簿に記載された方のうち、地域の自主防災組織に状況や個人情報を提供してもよいという同意をいただいた方の名簿を作成し、平常時の見守り事業を実施しています。 その名簿に記載のある方の中で、要介護5の認定の方と身体障害1級認定の一部の方を災害時の速やかな避難が難しい方ということで、個別避難計画の作成対象者としています。 個別避難計画は、その対象者の個々の状況と災害時の避難や避難所生活で支援が必要な事などの支援情報を直接お聞きするため、自主防災組織の要である町会長等と連携しながら進めており、完成した個別避難計画は、ご本人及び地域の自主防災組織役員（町会長など）と区役所で共有し、有事の際に備えることになります。	①
7	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『個別避難計画について』 優先的に安否確認をしてくれる自主防災組織の方についてはボランティアの登録制度なども考えてみてはどうか。個人情報の開示に同意されるのであれば近隣のボランティアと情報共有する、また、逆にそういったボランティアの情報を対象者に提供する仕組みも活用できるのではないかと感じている。 【荒田委員】	災害時の安否確認などは、自主防災組織の役員だけではなく、多くの方が関わって助け合うことが必要だと思います。ご提案いただいたようなボランティア登録の制度も含めて、地域ぐるみで助け合う災害時対応の効果的な方法を様々な観点から研究してまいります。	④
9	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『安まちメールの推進について』 安まちメールを拝見しているが、特殊詐欺被害が多く配信されている。ただ、交通安全についてのメール配信がない。ながら運転などをしている方を見ない日はなく、もっと交通安全について配信をお願いする。各地域や、学校、幼稚園に通わせている保護者に安まちメールの推進を図っていただければ、モラルも向上するのではないかと。また交通安全推進委員として活動する中で、阪南地域でも子ども見守り隊として80人の登録者の中で概ね40人が毎日子どもたちを見守っている。春秋の交通安全、防犯活動等も実施しており、ぜひ警察官、区役所の方には、ねぎらいの言葉もかけていただければ、地域の励みにつながる。 【久保委員】	安まちメールを活用した交通安全啓発に関する配信については、阿倍野警察署が充実を図り、すでに対応いただいております。 また、区役所でも安まちメール情報の配信を区役所のツイッターでも行っており、引き続き防犯、交通安全啓発の充実に努めてまいります。 子ども見守り隊等の活動について、毎日実施していただいております。子ども達の安全、また地域の防犯、交通安全にご尽力いただき誠にありがとうございます。ご意見につきまして、阿倍野警察とも共有してまいります。	①
8	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『自転車マナーについて』 区内の交通事故のうち自転車関連事故の占める割合が41.3%、大阪府下で、34.3%で、明らかに阿倍野区の自転車の事故が多い。「ながらスマホを止めよう」などののぼりを作成し、区役所や阿倍野警察署、区内の交番などに掲げ、交通マナー、ルールの向上に取り組むとか、防犯カメラを横断歩道に向け、スピーカーを使い、遠隔操作にて、直接注意を促すなどできれば自転車の信号無視撲滅につながる。 【人見委員】	ながらスマホの啓発や、信号無視注意喚起については、委員からいただいたご意見も参考に、阿倍野警察とも連携を行い、効果的な施策を検討してまいります。	③
10	R4.8	第1回区政会議安全・安心部会	『建設途上の建物への不法侵入の件』 丸山地区の特養建設がとん挫したままの場所での子どもたちの不法侵入の件は、今井委員や阿倍野警察署のご尽力があったと思うが、すっかり静かになり夏休みまでに解決している。 【本庄委員】	前回の勉強会でいただいた不法侵入のご意見については、阿倍野警察署に情報共有を行い、パトロールの強化を行っていただいております。 また、地域団体などのパトロール時に建物への不法侵入などを発見した場合は、110番通報をするようお願いし、区役所としましても、日々の巡回を強化しました。 今後も区政会議などでいただいたご意見については、引き続き阿倍野警察署と情報共有を図り、即時対応につなげるよう連携してまいります。	①